

運輸システムEXPO 2014

同時
開催

ワイヤレスジャパン2014、
ワイヤレス・テクノロジー・パーク2014



開催結果報告書

◆会期:2014年5月28日(水)~30日(金) 10:00~18:00 最終日は17:00まで

◆会場:東京ビッグサイト西3ホール

◆主 催: 運輸システムEXPO実行委員会

◆運営事務局: パラボックス株式会社 / 日本イージェイケイ株式会社

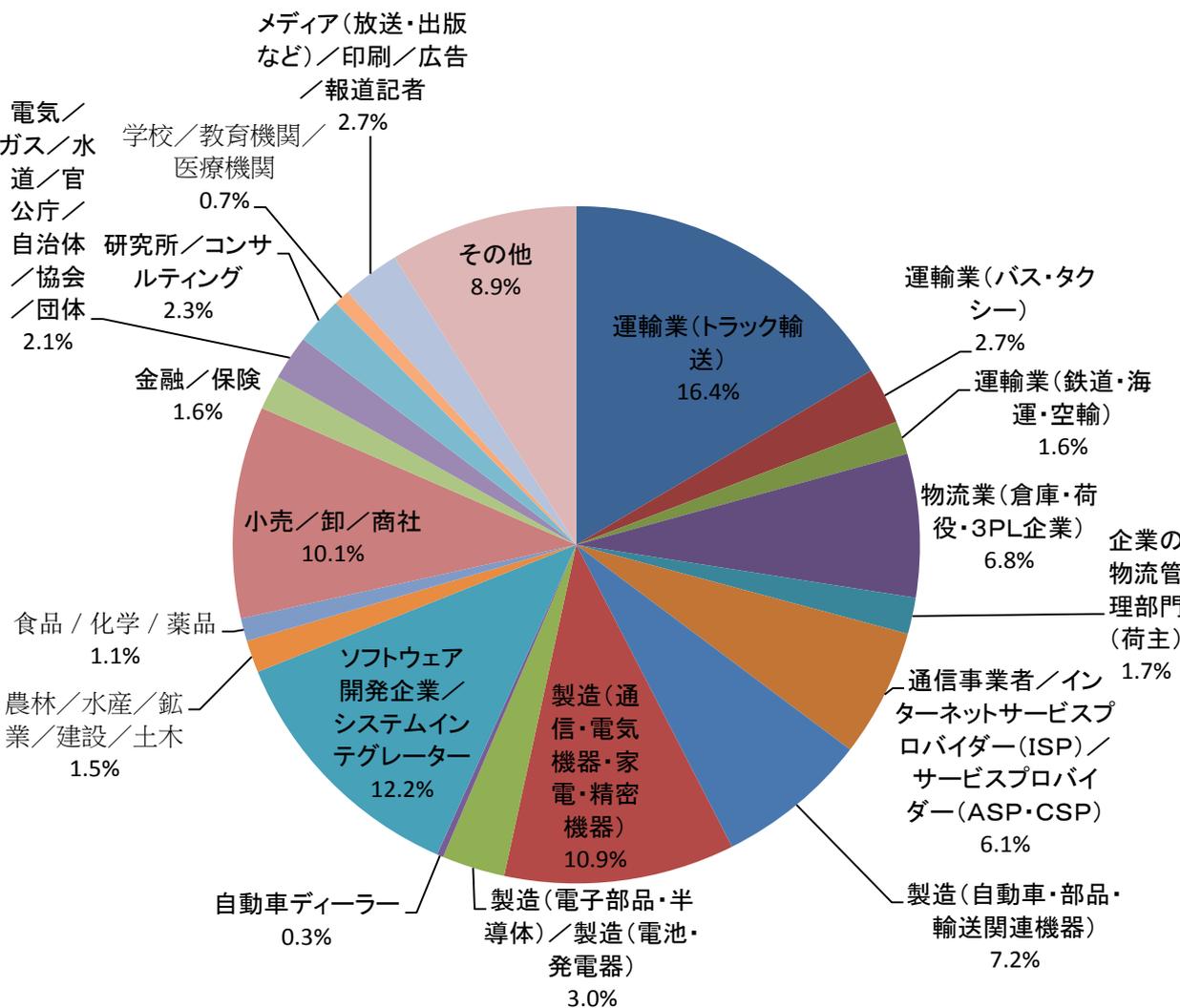
◆協 力:(公社)全日本トラック協会、株式会社MICEジャパン、株式会社日新

◆後 援:日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会、(公社)日本包装技術協会、
(一社)日本パレット協会、日本マテリアル・ハンドリング協会、
(一社)日本物流システム機器協会、(一財)環境優良車普及機構(LEVO)、他

総来場者数：44,740名 (2013年は、45,003名の来場者)

【内訳：5月28日(水) 12,683名 / 5月29日(木) 14,585名 / 5月30日(金) 17,472名 ※同時開催展を含めた人数です。】

運輸システムEXPO2014 来場者の業種

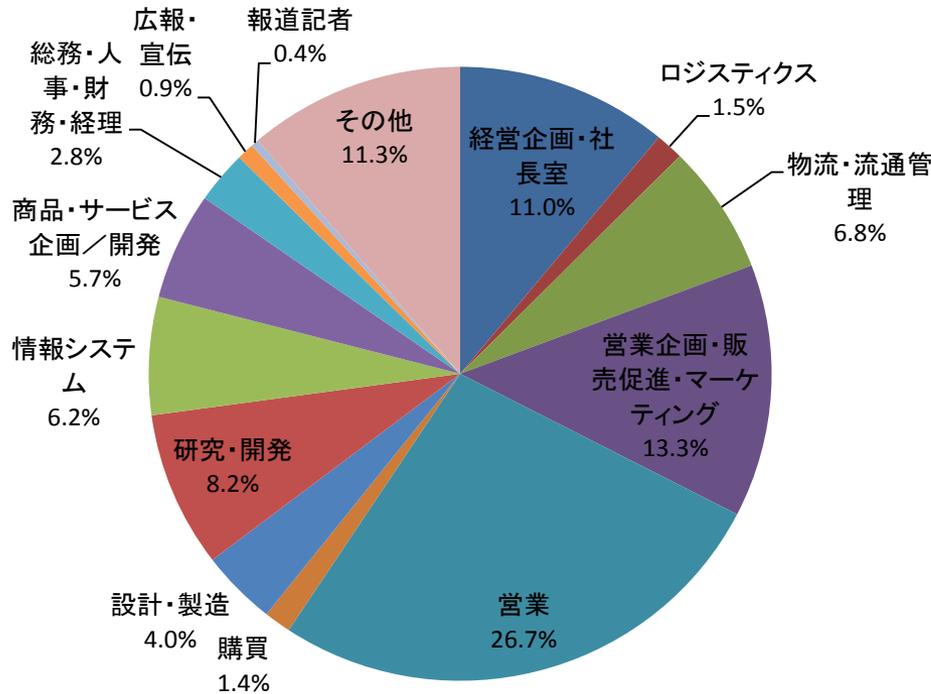


2013年は、

- 運輸業(トラック輸送)・・・14%
- 運輸業(鉄道・バス)・・・1.2%
- 運輸業(空輸・海運)・・・0.9%
- 物流業(倉庫)・・・2.3%
- 企業の物流管理部門・・・2.5%
- 3PL企業・・・2.6%
- 製造(運送用機器・部品)・・・3%
- 製造(自動車・車体)・・・1.9%
- 製造(家電・精密機器)・・・4.4%
- 製造(通信・電気機器)・・・9.6%
- 製造(電子部品・電池・発電機)・・・3%
- ソフトウェア開発企業・・・7.2%
- システムインテグレーター・・・6.8%
- 自動車ディーラー・・・1.4%
- 小売・卸・商社・・・10%
- 建設・土木・・・2.6%
- 金融・保険・・・1.2%
- 食品・科学・薬品・・・1.1%
- 官公庁・自治体・ライフライン・・・2.6%
- 教育・医療機器・・・0.5%
- 通信事業者・・・4.6%
- サービスプロバイダー(ISP・ASP・CSP)・・・3%
- メディア/印刷/広告・・・3.5%
- コンサルティング/研究所・・・3%
- その他・・・7.2%

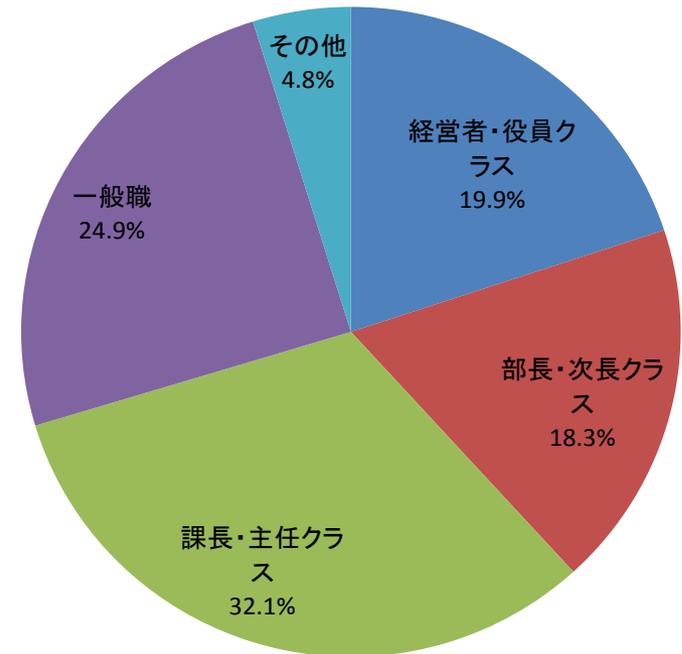
来場者アンケート

来場者の職種



2013年は、
 物流・流通管理・・・9.2%
 ロジスティクス・・・2.5%
 経営企画・社長室・・・8.2%
 総務・人事・・・2%
 情報システム・・・10%
 商品・サービス企画／開発・・・5.1%
 設計・製造・・・5.6%
 研究・開発・・・11.1%
 営業・・・20.7%
 営業企画・販売促進・マーケティング・・・15.6%
 広報・宣伝・・・0.7%
 購買・経理・・・0.9%
 その他・・・8.5%

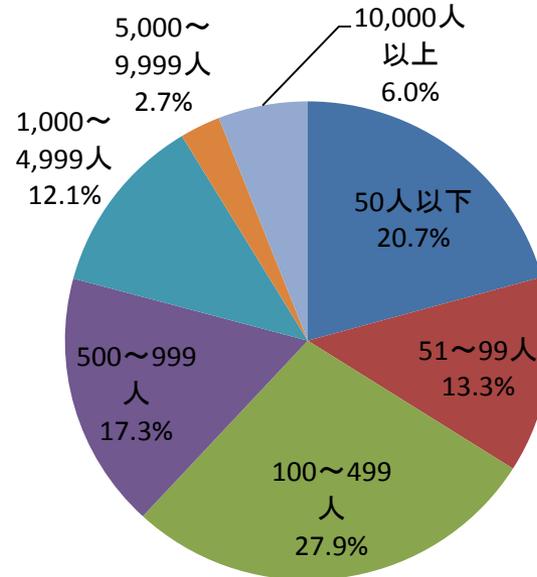
来場者の役職



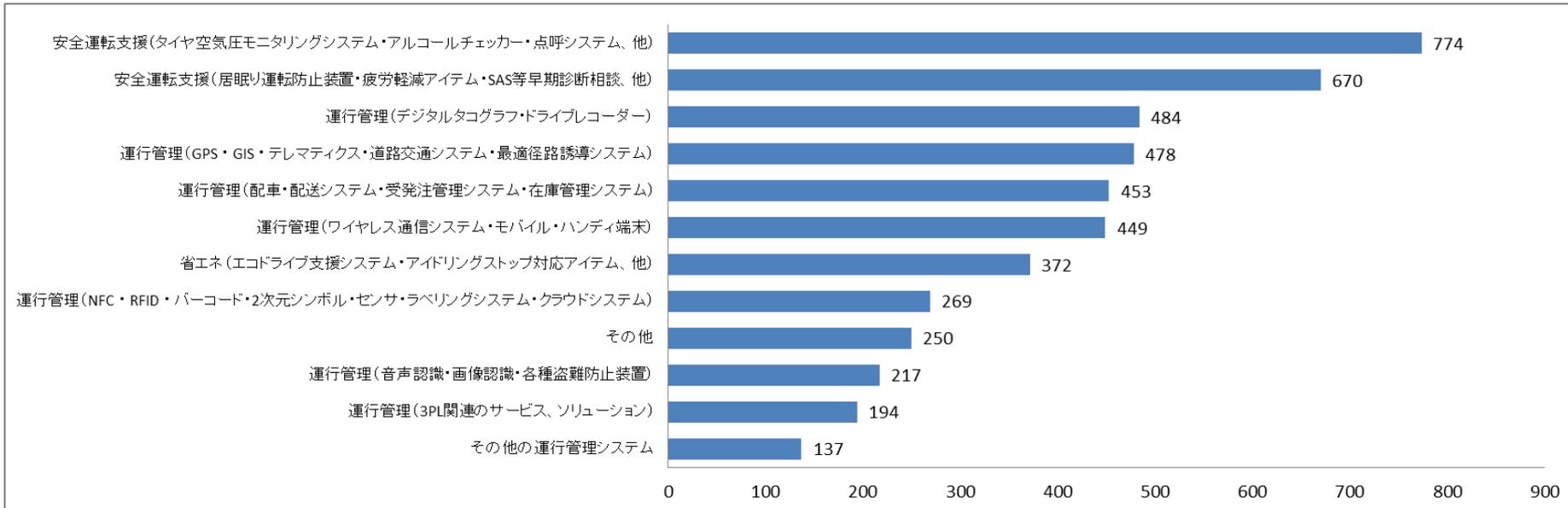
2013年は、
 経営者・役員クラス・・・15%
 部長・次長クラス・・・13.8%
 課長・主任クラス・・・37.8%
 一般職・・・29.7%
 その他・・・3.8%

来場者アンケート

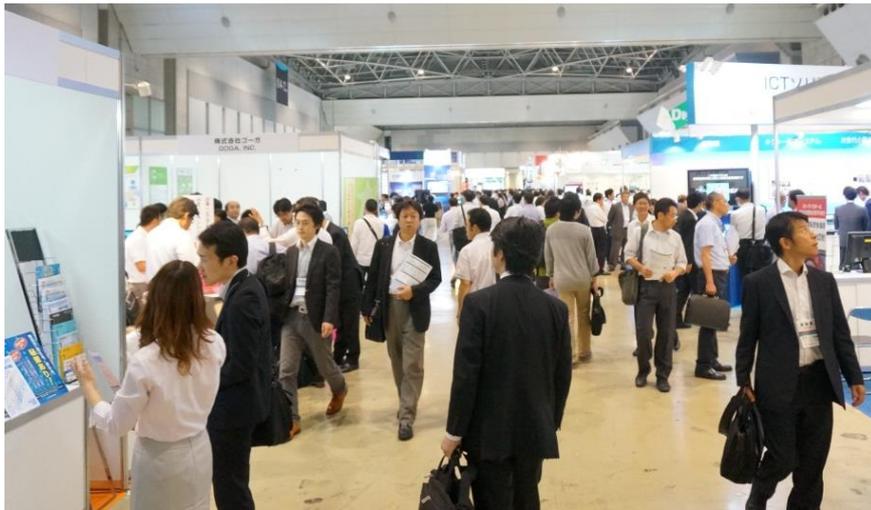
来場者の勤務先従業員数



来場者が関心のある分野/キーワード(複数回答可)



アイテック株式会社／株式会社トータルフリートサービス、株式会社 あきば商会、
 ATrack Technology Inc.／株式会社日立ハイテクノロジーズ、株式会社NPシステム開発、
 協栄産業株式会社、共栄システム株式会社、クラリオン株式会社、株式会社ケイマックス、
 株式会社ゴーガ、株式会社コスモサウンド、株式会社コムアソート、
 NPO法人 プラスチック最終製品協議会、ジャパン・トウエンティワン株式会社、
 JUKI株式会社／株式会社デルタツーリング、株式会社城山、株式会社セイノー情報サービス、
 西菱電機株式会社、テレニシ株式会社、株式会社テンツオフィス、東海電子株式会社、
 株式会社日本ビューテック／株式会社日本エレクトライク、
 日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会、株式会社 物流産業新聞社
 物流企画サポート株式会社、マイクロテクノロジー株式会社、
 矢崎総業株式会社／矢崎エナジーシステム株式会社、ユニオンツール株式会社



運輸システムEXPO2014 セミナープログラム

5月28日(水) 展示会場内セミナールーム

11:00~11:20	<p>モービルアイと他システムとの統合による、フリートドライバー管理の可視化 實川 裕敏氏 (ジャパン・トウエンティワン株式会社 執行役員/工学博士)</p> <p>後付け可能な車載用自動車衝突防止補助システムと、他システムとの連携によって実現しつつあるフリートドライバー管理の可視化。これまで経営者や管理者が把握することの難しかった、各ドライバーの運転状況を数値グラフ化することで、より具体的なドライバーの運行管理や安全運運転指導を可能とする。さらに安全のみならず、コスト(燃費、保険)、動態管理までも、より効率的にする車両フリート管理システム。その中身と展望について。</p>
11:30~12:00	<p>運送業界から日本を元気に！～第2回トラックドライバー甲子園に向けて～ 杉本 竜彦氏 (一般社団法人ドライバーニューディールアソシエーション 理事長)</p> <p>ドライバーが夢や誇りを持って仕事ができるようにしたい、カッコいいと言われるような業界にしたい！そんな熱い思い・志を持つ全国の仲間と立ち上げたのがD.N.A.です。我々の活動がすぐに業界を変える訳ではないと思いますが、一人でも多くのドライバーが夢を持って働き、子ども達が憧れる職業にしていきたいと考えております。</p>
13:00~13:20	<p>運輸システムをGoogle Mapsで効率化 福田 千晶氏 (株式会社ゴーガ Google Maps事業部 部長)</p> <p>車両の可視化はもちろんのこと、配送先のお客様管理、ドライバー日報、ルート検索などの機能を盛り込んだり、天気、渋滞情報のレイヤーを重ねたりすることで、情報が共有しやすくなり、日々の業務効率がアップします。普段から使い慣れているGoogleマップを業務でもっと便利に活用しませんか？</p>
13:30~13:50	<p>携帯電話・スマートフォンを活用した『モバイル配送進捗システム』のご紹介 松田 充弘氏 (株式会社コムアソート 常務取締役)</p> <p>乗務員が日常使用している携帯電話・スマートフォンの簡単ボタン操作により、タイムリーな配送状況が把握できます。初期投資を抑え、また自車だけでなく傭車でも使用できるため、トータルな状況判断が可能になり、運行責任者だけでなく荷主様にも的確な報告が可能になります。合わせてスマートフォンの利用形態や検品業務の事例などもご紹介致します。</p>
14:00~14:20	<p>次世代型業務用Android車載器 原田 智広氏 (クラリオン株式会社 CV事業推進部 GLマネージャー)</p> <p>クラリオンは、安全経済運転支援や業務効率化を支援する車載用業務端末の開発に取り組んでいます。業種ごとに要求される機能は様々で、その要求を満足でき、業務用途でも安心して使用できる堅牢性を保ったプラットフォームを検討してきました。この市場の要求を実現可能とする業務用Android車載端末を今回ご紹介いたします。</p>
14:30~14:50	<p>心をつなぐHumanNet(ヒューマンネット) 上野 巨志氏 (日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会 組織管理教育事業部 関東地域本部担当役員)</p> <p>私たち「日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会(通称:JL連合会)」は、全国の中小トラック運送事業者＝組合員が、新たな物流の創造を目指して自ら構築した「日本最大の物流ネットワーク組織」です。全国のJL仲間とパソコンによる24時間対応オンラインシステムで結び、求車求荷システム事業を基幹業務として活動を行っています。また加盟組合員は、交流会や講習会を通じて沢山の仲間と知り合うことができ、その仲間と力を合わせることによって、お客様のニーズに迅速・的確にお応えすることができ、中小トラック運送事業者でも大手物流会社や大手路線会社と同等の力を身につけることができます。私たちはそうした人と人との絆＝ヒューマンネットを大切にしています。是非、あなたもご参加頂きそのスケールを体感してみてください。</p>

5月28日(水) 展示会場内セミナールーム

15:30～15:50

アイテック株式会社

最先端クラウド技術が可能にした最新点呼システム！

龍田 圭央氏(テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 主任)

三原 健嗣氏(テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 係長)

IT点呼、対面点呼、電話点呼、すべての点呼がこれひとつで行える！手書き一切不要！すべての点呼結果が一枚の点呼簿に出力できる！最先端技術が可能にしたIT点呼キーパーの商品説明及びデモンストレーション

16:00～16:20

遠隔地にいるドライバーとのコミュニケーションを可視化し揺るぎない安全運行を実現する～点呼にアルコール測定システムを活用してドライバーの状態を把握する～

彦田 誉浩氏(東海電子株式会社 東京営業所)

日々、安全な運行を行うために点呼でのコミュニケーションは欠かす事が出来ません。アルコール測定システムと動画システムを連携させる事で点呼の質を高め、ドライバーの状態を最大限見える化しシステムをご紹介します。

5月29日(木) 展示会場内セミナールーム

10:50～11:20

世界で加速する天然ガス自動車の普及状況と日本での現状と今後

平瀬 裕介氏(一般社団法人 日本ガス協会 天然ガス自動車室 室長)

自動車輸送のエネルギーは現在、ほぼ石油に依存しているが、燃料多様化の必要性和米国発の「シェールガス革命」の効果による天然ガスの価格低下への期待により、自動車輸送分野での天然ガス利用が拡大している。

本講演では、「シェールガス革命」が自動車に与える影響、欧米を中心として世界における天然ガス自動車の普及状況および日本での現状と今後の普及展望について概説する。

11:30～12:00

モノの流れを最適化する物流機器の個体管理システムを事例で紹介

吉田 拓馬氏(日本パレットレンタル株式会社 次世代事業推進部 次世代サービス事業開発PJ 主任)

自動認識技術を活用し、物流機器の個体管理を実現するJPR物流ソリューションシステム「Link(エルリンク)」を紹介します。

当社の提供するLinkはモノの流れと情報を一体化するクラウド型サービスです。

個体管理により蓄積したビッグデータを活用することで、入出庫作業の軽減、物流機器のスムーズな管理、紛失防止によるコスト削減などさまざまな効果をお客様事例とともに紹介いたします。

13:00～13:20

運輸システムをGoogle Mapsで効率化

福田 千晶氏(株式会社ゴーガ Google Maps事業部 部長)

車両の可視化はもちろんのこと、配送先のお客様管理、ドライバー日報、ルート検索などの機能を盛り込んだり、天気、渋滞情報のレイヤーを重ねたりすることで、情報が共有しやすくなり、日々の業務効率がアップします。普段から使い慣れているGoogleマップを業務でもっと便利に活用しませんか？

5月29日(木) 展示会場内セミナールーム

13:30～13:50	<p>携帯電話・スマートフォンを活用した『モバイル配送進捗システム』のご紹介 松田 充弘氏(株式会社コムアソート 常務取締役)</p> <p>乗務員が日常使用している携帯電話・スマートフォンの簡単ボタン操作により、タイムリーな配送状況が把握できます。初期投資を抑え、また自車だけでなく備車でも使用できるため、トータルな状況判断が可能になり、運行責任者だけでなく荷主様にも的確な報告が可能になります。合わせてスマートフォンの利用形態や検品業務の事例などもご紹介致します。</p>
14:00～14:20	<p>今、求められる！クラウド型 配車支援／運行管理システム 白木 智氏(株式会社セイノー情報サービス 東京支店 主任)</p> <p>昨今のドライバー不足により、大切な資産である車とドライバーの有効活用が大きな課題になっており、輸配送効率・積載効率を向上し、資産を有効活用することが今、強く求められています。</p> <p>当セミナーでは、クラウド環境により初期投資を抑制し、効率的な配車を実現する配車支援システムと、運行状況をリアルタイムに把握し、更なる効率化と顧客サービス向上を実現する運行管理システムの活用事例をご紹介させていただきます。</p>
15:00～15:20	<p>GPS車載器/OBDデータで運行管理 施 エンジェル氏(ATrack Technology Inc. 営業部 営業)</p> <p>ATrackとは台湾のGPSトラックメーカーで、ATrack社のGPS車載器で車両の位置情報や運行情報を取得、燃料やトラックの温度管理も実現します。取り付け簡単なOBD II タイプの車載器で、運行管理のほかにOBDデータも取得可能です。更に、自動車の位置情報だけでなく、コンテナやトレーの位置管理も。多様な応用によって、不注意運転防止や事故防止も可能です。実際の応用例と導入事例も紹介します。</p>
15:30～15:50	<p>IP無線を活用したタクシー配車システム導入事例 巻田 直樹氏(三菱電機株式会社 情報通信販売事業部 主任)</p> <p>ゲスト:岩田 将克氏(東京コンドルタクシー株式会社 常務取締役)、片山 萌美氏(タレント)</p> <p>当社は無線通信技術を活用した、配車効率改善の支援システムをご提供しております。</p> <p>今回は、ゲストとして東京コンドルタクシー株式会社より岩田常務取締役を招いて当社システムの導入により、タクシー1台あたりの配車効率改善や起伏が多く無線が繋がりにくかった地区での無線通話エリア拡大についてなど、導入の効果をご紹介します。</p>
16:00～16:20	<p>KYOEI物流業務改善ソリューションのご紹介 長谷川 洸氏(協栄産業株式会社 ソリューション第一事業部 営業部)</p> <p>燃料高騰、高齢化によるドライバー不足、Co2削減など・・・物流業界をとりまく環境は必ずしも良いとは言えず一方で荷主企業からの要求は増すばかりです。</p> <p>しかし、IT化が急激に進んできている中、これを有効活用して業務の効率化に成功している企業が数多く存在するのも事実です。</p> <p>今回、協栄産業は業務改善ソリューションとして運賃計算システム、受領書管理システム、配送進捗管理システム、乗務員募集サイトをご紹介いたします。</p> <p>ぜひご参加ください。</p>

5月29日(木) 展示会場内セミナールーム

最先端クラウド技術が可能にした最新点呼システム！

龍田 圭央氏(テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 主任)

三原 健嗣氏(テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 係長)

IT点呼、対面点呼、電話点呼、すべての点呼がこれひとつで行える！手書き一切不要！すべての点呼結果が一枚の点呼簿に出力できる！最先端技術が可能にしたIT点呼キーパーの商品説明及びデモンストレーション

16:30～16:50

遠隔地にいるドライバーとのコミュニケーションを可視化し揺るぎない安全運行を実現する～点呼にアルコール測定システムを活用してドライバーの状態を把握する～

彦田 誉浩(東海電子株式会社 東京営業所)

日々、安全な運行を行うために点呼でのコミュニケーションは欠かす事が出来ません。アルコール測定システムと動画システムを連携させる事で点呼の質を高め、ドライバーの状態を最大限見える化しシステムをご紹介致します。

5月30日(金) 展示会場内セミナールーム

SCMの設計と構築における運輸システムの役割

鈴木 邦成氏(一般社団法人 日本SCM協会)

SCMを推進するにあたり物流・ロジスティクス領域の強化、及び高度化は不可欠といえる。さらに物流・ロジスティクス領域における運輸部門の占める役割はきわめて大きい。しかしドライバー不足、グリーン物流への対応などを踏まえると物流における運輸システムは大きな刷新を求められてもいる。そこで本講演ではSCMにおける運輸システムのあり方について少子高齢化、環境対策などの課題に言及しつつ、現状と今後を分析する。

10:30～11:00

環境にやさしいリサイクルパレット～プラスチック製容器包装の一貫リサイクル～

田中 勉氏(特定非営利法人 プラスチックマテリアルリサイクル最終製品利用推進協議会 新港リサイクル株式会社 企画管理室長)

プラスチック製容器包装リサイクルの最終製品の中で最も成功した事例の一つがリサイクルパレットです。

ご家庭で使用済みになったプラスチック製容器包装は、実はパレットの原料にとっても適したものでした。

プラスチック製容器包装が(1)ベール化、(2)再生処理、(3)最終製品製造という3段階の工程を経てリサイクルされる製造工程と、そこから作り出される高品質で低価格のリサイクルパレットをご紹介します。

11:10～11:40

頻発する健康・睡眠起因事故の撲滅に向けて～事故リスク軽減対策を考える～

仙波 修氏(ビオスピクス株式会社 代表取締役)

トラックや高速バス等、プロドライバーの健康・睡眠起因による痛ましい事故が頻発しています。2年前の関越道高速ツアーバス事故は労働環境も含めて管理面で様々な問題があり、起こるべくして起きたと言えますが、それ以降(1)定期健診、(2)乗務前点呼、(3)走行時間・距離の制限等、健康・運行・労務の管理を徹底しても、依然として健康・睡眠起因事故が減らないのはなぜか？リスクマネジメント的観点から、新たな事故リスク軽減対策を考えます。

11:50～12:20

5月30日(金) 展示会場内セミナールーム

13:00～13:20	<p>居眠り運転警告「スリープバスター」の技術紹介 松山 繁博氏 (JUKI株式会社 事業開発部 営業グループ プロジェクトリーダー)</p> <p>居眠り運転警告装置スリープバスターの装置概要や機能、並びに各種判定内容とそれらを実現させるための裏づけとなる技術をご紹介します。特に、非拘束の状態で自律神経の動きを検知するしくみや、運転中のヒューマンエラーにつながる様々な体調の状態を特定(判定)する原理を詳しく説明します。更に、今回新たに加わった判定や、運行管理に利用するためのソフトもご紹介します。</p>
13:30～13:50	<p>モバイルAIと他システムとの統合による、フリートドライバー管理の可視化 實川 裕敏氏 (ジャパン・トゥエンティワン株式会社 執行役員/工学博士)</p> <p>後付け可能な車載用自動車衝突防止補助システムと、他システムとの連携によって実現しつつあるフリートドライバー管理の可視化。これまで経営者や管理者が把握することの難しかった、各ドライバーの運転状況を数値グラフ化することで、より具体的なドライバーの運行管理や安全運転指導を可能とする。さらに安全のみならず、コスト(燃費、保険)、動態管理までも、より効率的にする車両フリート管理システム。その中身と展望について。</p>
14:00～14:20	<p>最先端クラウド技術が可能にした最新点呼システム！ 龍田 圭央氏 (テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 主任) 三原 健嗣氏 (テレニシ株式会社 情報システム部 法人営業部 係長)</p> <p>IT点呼、対面点呼、電話点呼、すべての点呼がこれひとつで行える！手書き一切不要！すべての点呼結果が一枚の点呼簿に出力できる！最先端技術が可能にしたIT点呼キーパーの商品説明及びデモンストレーション</p>
	<p>遠隔地にいるドライバーとのコミュニケーションを可視化し揺るぎない安全運行を実現する ～点呼にアルコール測定システムを活用してドライバーの状態を把握する～ 彦田 誉浩 (東海電子株式会社 東京営業所)</p> <p>日々、安全な運行を行うために点呼でのコミュニケーションは欠かす事が出来ません。アルコール測定システムと動画システムを連携させる事で点呼の質を高め、ドライバーの状態を最大限見える化しシステムをご紹介します。</p>
14:30～14:50	<p>国交省認定デジタルタコグラフ+ドライブレコーダー+動態管理一体機「タコドラ」のご紹介 遠藤 慎吾氏 (株式会社あきば商会 特販1課 課長)</p> <p>デジタルタコグラフ+ドライブレコーダー+動態管理「タコドラ」の3つの見える化機能(見える化パネル、ヒヤリハットナビ、グッドポイント)、労務管理機能について</p>

5月30日(金) 展示会場内セミナールーム

15:00～15:20

今、求められる！クラウド型 配車支援/運行管理システム

山本 均氏(株式会社セイノー情報サービス 東京支店 担当課長)

昨今のドライバー不足により、大切な資産である車とドライバーの有効活用が大きな課題になっており、輸配送効率・積載効率を向上し、資産を有効活用することが今、強く求められています。

当セミナーでは、クラウド環境により初期投資を抑制し、効率的な配車を実現する配車支援システムと、運行状況をリアルタイムに把握し、更なる効率化と顧客サービス向上を実現する運行管理システムの活用事例をご紹介します。

15:30～15:50

運輸システムをGoogle Mapsで効率化

福田 千晶氏(株式会社ゴーガ Google Maps事業部 部長)

車両の可視化はもちろんのこと、配送先のお客様管理、ドライバー日報、ルート検索などの機能を盛り込んだり、天気、渋滞情報のレイヤーを重ねたりすることで、情報が共有しやすくなり、日々の業務効率がアップします。普段から使い慣れているGoogleマップを業務でもっと便利に活用しませんか？

16:00～16:20

携帯電話・スマートフォンを活用した『モバイル配送進捗システム』のご紹介

佐藤 桂子氏(株式会社コムアソートソリューション営業スタッフ)

乗務員が日常使用している携帯電話・スマートフォンの簡単ボタン操作により、タイムリーな配送状況が把握できます。初期投資を抑え、また自車だけでなく備車でも使用できるため、トータルな状況判断が可能になり、運行責任者だけでなく荷主様にも的確な報告が可能になります。合わせてスマートフォンの利用形態や検品業務の事例などもご紹介致します。



運輸システムEXPO2015 開催のご案内

2015年5月27日(水)～29日(金)
東京ビッグサイト 西3・4ホールで開催いたします。

【出展に関するお問い合わせ先】

運営事務局 日本イージェイケイ株式会社

truck-info@ejk-japan.co.jp

TEL:03-6459-0444 FAX:03-6459-0445

〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園7F

公式サイト: <http://www.truckexpo.jp>

**次回、取り上げてほしい展示会テーマ、セミナーテーマについても
お気軽に事務局までご相談ください！**